

厚生労働科学研究(がん臨床研究)推進事業

市民公開講座

# 膵がんと闘う!

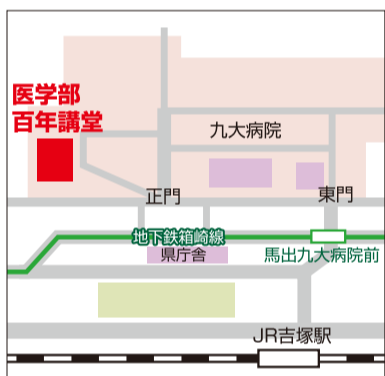
## その診断と治療の最前線

膵がんは「21世紀に残された消化器がん」と呼ばれ、予後不良な疾患です。早期診断件数を増やし、予後を改善するためには、国民一人ひとりが、医学的知識を持つことが必要です。今年、新しい分子標的薬「タルセバ」が認可され、実臨床に登場してきました。将来、鳥栖に重粒子線を利用したがんの治療センター設立も予定されています。難治性疾患に対する新薬や新治療機器の登場は期待の反面、誤解を生じさせやすく、治療選択を誤らせることもあり得ます。患者さんとご家族には救済の可能性を求めて、一般市民の方には早期診断のため、最前線に立つ専門医から膵がんの正確で最新の診断と治療を学びます。

**日時** 2012年1月14日(土)  
午後1時20分～4時30分(1時間開場)

**会場** 九州大学医学部 百年講堂  
福岡市東区馬出3の1の1 ☎0926411151

定員500人  
入場無料



※地下鉄・馬出九大病院前駅から徒歩8分  
JR線・吉塚駅から徒歩15分

●聴講ご希望の方へ  
はがき、ファクス、電子メールで、郵便番号、住所、名前、年齢、職業、電話番号と「市民公開講座「膵がんと闘う!」聴講希望」と明記し、左記にお申し込み下さい。入場整理券を郵送します。定員になり次第締め切らせて頂きます。講師への質問がありましたら申し込みの際にお書き添え下さい。

●申込先  
九州がんセンター 消化器肝胆膵内科 市民公開講座係  
(〒811-3955 福岡市南区野多目3の1の1)  
FAX 092-542-0500  
電子メール makikawa@nk-cc.go.jp  
☎092-541-6201(内線5222)

講演 午後2時5分～3時45分

「診療の現状と  
進行期における最新治療」  
九州大学大学院医学研究科病態制御内科准教授  
伊藤 鉄英さん

「膵がんに対する手術」  
九州がんセンター消化器外科医長  
池田 泰治さん

「重粒子線治療の  
適応と限界」  
放射線医学研究所医師 篠藤 誠さん

「早期診断への取り組み」  
九州大学大学院医学研究科病態制御内科助教  
五十嵐久人さん

「糖尿病との関係、  
肝胆膵がんドックについて」  
九州がんセンター統括診療部長  
古川 正幸さん

「早期診断と治療成績向上をめざして」  
パネリスト 池田 泰治さん、篠藤 誠さん、  
五十嵐久人さん、古川 正幸さん



（司会/コーディネーター）  
医療ジャーナリスト 藤野 博史さん

癒やしのコンサート

午後1時20分～1時50分  
フルート 白日 志穂さん  
ピアノ 安村 真紀さん



主催/独立行政法人国立病院機構九州がんセンター消化器肝胆膵内科 共催/公益財団法人 日本対がん協会  
後援/福岡市、NPO法人パンキャンジャパン、財団法人福岡県すこやか健康事業団(日本対がん協会 福岡県支部)、  
読売新聞西部本社